

# 基礎研修Ⅰ 受講者募集のお知らせ

基礎研修は、認定社会福祉士認証・認定機構の研修認証を受けた研修で、認定社会福祉士制度の共通専門研修10単位として認められます。認定社会福祉士の取得を視野に入れ、まずは基礎研修の受講から始めましょう。

基礎研修Ⅰは、社会福祉士としての倫理綱領・行動規範の意味を理解するとともに、実践の基礎となる専門性を修得することを目的としています。この度、下記の概要で研修を行いますので、みなさまのお申し込みをお待ちしています。

## 記



期 日	令和3年8月14日(土)・令和3年11月6日(土)
研 修 名	基礎研修Ⅰ
参 集 範 囲	山形県社会福祉士会会員
募 集 人 数	山形県社会福祉士会会員30名(先着順) 【入会手続き中の方は、申込書の会員番号欄にその旨ご記入ください。】
研 修 方 法	ZOOMによるオンライン研修
受 講 要 件	①オンライン可能なPCをお持ちの方(携帯電話での受講は不可) ②ネット環境が整っている方
費 用	受講料：5,000円 ○基礎研修テキスト(上・下)：各1,980円 ○ワークブックⅠ：220円
申 込 方 法	裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、 <u>メール添付にてお申し込みください。</u> 後日、決定通知・請求書・テキスト等を送付いたします。
申 込 締 切	<u>令和3年6月30日(水)必着</u>
そ の 他	①当日資料及びZoomID等のお知らせは、メールによる添付とさせていただきますので容量が膨大になります事から、登録するメールアドレスは、パソコン・タブレットのみとさせていただきます。(携帯電話アドレス不可) ②一斉メールでの送信となります事から、受信設定より下記問い合わせ先のe-mailアドレスの受信許可をお願いいたします。 ③原則zoom開催ですが、状況によって集合研修の場合がございます。

お問合せ先： 一般社団法人山形県社会福祉士会  
事務局(笹原)  
〒990-0021 山形県山形市小白川町2-3-31  
TEL：023-615-6565  
E-Mail：kenshu@smail.plala.or.jp

# 令和3年度 基礎研修Ⅰ 申込書

所属県士会名	
山形県社会福祉士会 会員番号	
社会福祉士登録番号	
(ふりがな) 氏名	-----
自宅住所	〒
勤務先 (グループ分けに使用)	
メールアドレス (必須)	※必須 (携帯・職場アドレス不可) _____
連絡先TEL (すべて記入し、優先連絡先に☑してください)	<input type="checkbox"/> 自宅 : _____ <input type="checkbox"/> 携帯 : _____ <input type="checkbox"/> 勤務先 : _____

※メール添付でお申し込みください。

【研修用アドレス】 [kenshu@smail.plala.or.jp](mailto:kenshu@smail.plala.or.jp)

【令和3年度 基礎研修Ⅰ開催概要】

科目	研修番号	研修テーマ	日程	研修内容
生涯研修制度独自科目	集合研修1	社会福祉士のあゆみ	8月14日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本社会福祉士会と都道府県社会福祉士会のあゆみ</li> <li>・専門職団体として目指すところ</li> <li>・専門職団体としての日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会の組織体制と目的</li> <li>・会員個人が果たすべき役割</li> <li>・生涯研修制度の目的、役割、仕組み、今後の取り組み</li> <li>・研修を受講することの意義</li> <li>・基礎研修Ⅰ～Ⅲのねらいとカリキュラム</li> <li>・生涯研修制度の概略</li> <li>・研修を受けることの意義</li> <li>・社会福祉士の専門性に気づきと自らの将来像</li> <li>・将来像に向かっでの目標の明確化</li> </ul>
	集合研修2	日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士の組織		
	集合研修3	生涯研修制度		
	事前課題	社会福祉士の役割を考える		
ソーシャルワーク理論系 科目Ⅰ	集合研修1	社会福祉士としての専門性について考える		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の専門職としての実践のあり方</li> </ul>
	事前課題	社会福祉士としての専門性について考える		
ソーシャルワーク理論系 科目Ⅰ	集合研修2	社会福祉士に共通する専門性の理解	11月6日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の共通基盤</li> <li>・社会福祉士の共通基盤について</li> <li>・自らの現状と課題及び、所属組織における現状と課題</li> <li>・所属組織とは異なる領域におけるソーシャルワーク実践の現状と課題</li> <li>・社会福祉士の倫理綱領・行動規範</li> <li>・社会福祉士の倫理綱領の成立と改訂の経過</li> <li>・専門職として倫理綱領を持つ意味</li> <li>・社会福祉士の倫理綱領・行動規範</li> <li>・倫理綱領の内容と現場での位置づけ</li> <li>・倫理綱領と行動規範のつながり</li> <li>・社会福祉士が行動規範を持つ意味</li> </ul>
	事前課題	社会福祉士に共通する専門性の理解		
	事前課題	所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ		
	事前課題	所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ		
	集合研修1	倫理綱領・行動規範の理解		
権利擁護・法系科目Ⅰ	集合研修2	社会福祉士の倫理綱領の実践適用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理綱領と行動規範のつながり</li> <li>・社会福祉士が行動規範を持つ意味</li> </ul>
	事前課題	倫理綱領・行動規範の理解		